

新年度の注目事業

01 活力・交流

国際会議の開催

JCI ASPAC新潟大会(6/11-14)で国内外から約8,000人が新潟市に来る見込みです。

白山エリアのアリーナ調査

プレミアム商品事業 夏頃目処に発行

物価高への対応としてプレミアム付デジタル商品券を発行します。
発行額:54億円(150万口、1口3,600円分を3,000円で販売、1人10口まで購入)可能

小柳の問題提起

新潟県民会館との統合

市の想定は現在の新潟市体育館と陸上競技場サブグラウンドの敷地に8,000人規模のアリーナ建設です。

一方、同じような役割の老朽化した県民会館がすぐ隣にあります。まさに二重行政です。

中途半端な施設を作り稼働率が下がるよりも一体的に再整備する方が将来を見据えた時に必要だと提案しました。

今回の市の想定



02 子育て・教育

給食費の保護者負担軽減

スペシャルサポートルームの増設

設置校は55校から74校に(市内全105校)北区での設置率は60%

令和8年度の学校給食費

国は令和8年度より公立小学校での学校給食費軽減制度を始めました。新潟市は国の基準を超える部分は市が負担し**保護者負担なしの制度**としました。

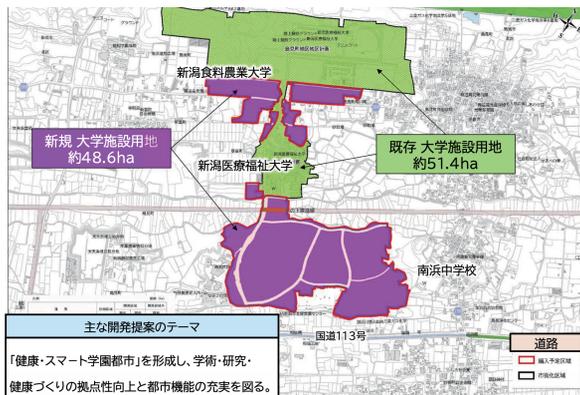
国が設定する基準額
月額5,200円

基準超過額
月額1,500円

北区の動き

島見町地区の開発

新潟市都市計画審議会にて用途地域の変更が承認されました。



早通児童センター

児童センター老朽化に伴う施設再編は、新潟市の児童館に関する方針が変更された後議論が再開されます。

会議資料はこちらからご覧いただけます



福島潟の中長期ビジョン策定



国際湿地会議が11月30日から開催されます。環境と経済の両立について考える区の事業もスタートします。



豊栄駅北地区の開発

新潟市都市計画審議会にて用途地域の変更が承認されました。

